



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ヘッドウォーターズ 上場取引所 東  
 コード番号 4011 URL <https://www.headwaters.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠田 庸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 原島 一隆 (TEL) 03-5363-9361  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日~2020年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	889	—	166	—	153	—	128	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年12月期第3四半期	156.59		—					
2019年12月期第3四半期	—		—					

(注) 1. 2020年12月期第3四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、2019年12月期第3四半期累計期間の数値及び前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は2020年9月29日に東京証券取引所マザーズに上場しましたが、第16期第3四半期会計期間の末日までに初値が形成されなかったことから、第16期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

3. 当社は、2020年6月16日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	923	—	732	—	79.3	—
2019年12月期	560	—	382	—	68.3	—

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 732百万円 2019年12月期 382百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,134	6.3	184	52.9	172	42.0	138	38.8	163.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期3Q	922,800株	2019年12月期	822,800株
2020年12月期3Q	—株	2019年12月期	—株
2020年12月期3Q	823,530株	2019年12月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、2020年6月16日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を記載しております。
2. 当社は、第3四半期の業績開示を2020年12月期より行っているため、2019年12月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済活動が大きく制約されるなか、企業収益や個人消費の減退など、極めて厳しい環境で推移しました。政府による緊急事態宣言の解除後も、経済活動の回復に向けた動きは鈍く、先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、当社が属する業界においては、社会へ普及が進む人工知能(AI)など、人を介さないコミュニケーション手段の進展、リモートワークの広がりによるインターネットの活用が一層進むことが引き続き予測されます。

当第3四半期累計期間におきましては、AIや機械学習機能をロボットやスマートスピーカー、スマートフォンなどに連携する、AIソリューション開発の実績を積み、概念実証から業務システム等への受注が増加しております。その中で、AIインテグレーションサービスにおいては、当社はAIを活用したソリューション開発の需要を的確に捉え、新規顧客からの受注を獲得するのみならず、既存顧客からの受注も伸ばし、売上高は294,497千円となりました。一方で、既存のDX(デジタルトランスフォーメーション)サービスにおいてはAIソリューションサービスへ注力した結果、462,884千円となりました。また、プロダクトサービスやOpsサービスにおいては、継続案件により、予算通りの着地となり、プロダクトサービスの売上高は51,858千円、Opsサービスの売上高は80,618千円となりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は889,858千円、営業利益は166,879千円、経常利益は153,027千円、四半期純利益128,953千円となりました。

当社では、AIを活用し更なる顧客サービスの実現を目指すAIインテグレーション事業の単一セグメントで推進しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して362,702千円増加し、923,214千円となりました。流動資産は前事業年度末と比較して359,826千円増加し、903,537千円となりました。主な要因は、仕掛品が3,181千円、前払費用が3,824千円減少したものの、現金及び預金が327,608千円、売掛金が39,275千円増加したことによるものであります。固定資産は前事業年度末と比較して2,875千円増加し、19,676千円となりました。主な要因は、パソコン等の備品取得による有形固定資産1,352千円の増加によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比較して12,948千円増加し、190,865千円となりました。主な要因は、借入金を一括返済したため1年内返済予定の長期借入金10,008千円、長期借入金16,624千円が減少したものの、買掛金32,777千円、未払消費税等6,134千円の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比較して349,753千円増加し、732,349千円となりました。主な要因は、増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ110,400千円、四半期純利益の計上による利益剰余金128,953千円の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年9月29日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	402,838	730,447
売掛金	123,792	163,067
仕掛品	4,863	1,682
前払費用	11,799	7,975
その他	416	364
流動資産合計	543,711	903,537
固定資産		
有形固定資産	11,762	13,115
投資その他の資産	5,038	6,561
固定資産合計	16,800	19,676
資産合計	560,512	923,214

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	51,258	84,036
1年内返済予定の長期借入金	10,008	—
未払金	13,815	25,084
未払費用	33,013	27,459
未払消費税等	19,333	25,467
未払法人税等	21,607	17,650
前受金	943	2,380
預り金	11,311	8,786
流動負債合計	161,292	190,865
固定負債		
長期借入金	16,624	—
固定負債合計	16,624	—
負債合計	177,916	190,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,866	354,266
資本剰余金	233,866	344,266
利益剰余金	△95,136	33,817
株主資本合計	382,595	732,349
純資産合計	382,595	732,349
負債純資産合計	560,512	923,214

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	889,858
売上原価	446,111
売上総利益	443,747
販売費及び一般管理費	276,867
営業利益	166,879
営業外収益	
受取利息	3
還付消費税等	26
その他	9
営業外収益合計	39
営業外費用	
支払利息	60
支払保証料	56
為替差損	188
上場関連費用	13,380
その他	206
営業外費用合計	13,891
経常利益	153,027
税引前四半期純利益	153,027
法人税、住民税及び事業税	24,074
法人税等合計	24,074
四半期純利益	128,953

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月29日に東京証券取引所マザーズに上場し、上場にあたり2020年9月28日に公募増資による払込を受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が110,400千円、資本剰余金が110,400千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が354,266千円、資本剰余金が344,266千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。